

オペレーションの変更 ～ゆとりと個別性～

2017.12.5

通所介護事業所

背景

- ①認知症対応型通所介護の廃止
- ②特浴対応者の増加
- ③利用者様の増加
- ④食事介助必要者の増加

①認知症対応型通所介護の廃止

▶ 認知症型から一般型へ移行

- ・ 認知症型利用者の減少
- ・ レイアウト変更によりコンパクト化
テーブル
機能訓練スペース
静養ベッド等

②特浴対応者の増加により

- ▶ 着脱室内のストレッチャースペースの確保が難しい
- ▶ 午後の入浴時間内に終了しない
- ▶ 経管栄養開始時間の遅れ
- ▶ 男女の入れ替え時間ロス

③利用者様の増加

▶ 海光園評判に起因

- i .断らない施設
- ii .誰がどんな状態でも対応できる施設

結果、利用者様は増加し、介護量は増える

④食事介助必要者の増加

▶ケアに必要な時間の増加

- ・食後の口腔ケア
- ・コップ・茶碗の洗浄



午後の日課の開始時間に遅れが生じる

オペレーションの検討

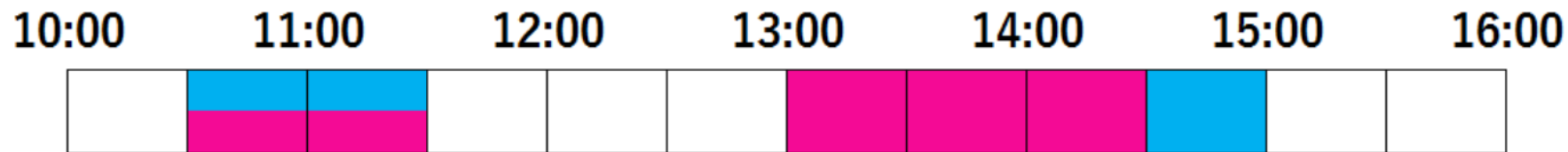
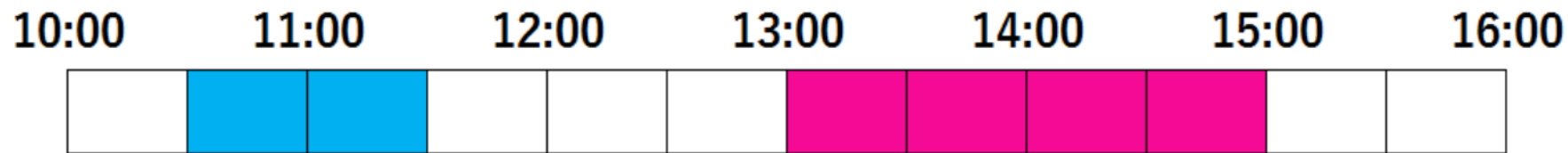
- ▶ 午前中からの入浴を開始
- ▶ 入浴時間中に個別レクを実施
- ▶ 食事介助を1テーブルに



全体アクティビティに従来通り職員を集中させることができた

実行（タイムテーブル）

- ▶ **入浴時間** を延長し、人員配置も変更する
- ▶ 5人×4コマ ⇒ 4人×5コマとし、フロアに職員を厚く配置する



実際の様子 (個別レクリエーション 脳トレ)



結果

- ▶ 全体的な待ち時間も減り、ご利用者の満足度が向上

目標稼働率の達成！

H27年度 (認知症+一般型)	H28年度 (認知症+一般型)	H29年度 (一般型)
目標：29.6名 (定員45名)	目標：27.5名 (定員45名)	目標：25名 (定員33名)
実績：25.1名 未達成	実績：23.8名 未達成	実績：25.8名 達成！

終わりに

- ▶ 現在の合言葉は「自立支援」
- ▶ できないことをできない分だけ支援する
- ▶ 常に「このままでいいのか」と問いかけ、さらに先へ進んでいきたい